

令和 8 年度

地区まちづくりセンター 施 設 概 要

富士市地区まちづくりセンター施設一覧

【R8.4.1現在】

施設名	所在地	T E L	敷地面積	上：センター延面積 下：図書館面積	人 口	世帯数	上：竣工年月日 下：増改築年月日	職員数	備 考
★吉 原	〒417-0044 高嶺町6番3号	53-1580	1,805.71㎡	1,043.16㎡	11,533人	6,051	S57. 1.15 R 5. 3.17	2 (1)	
伝 法	〒417-0061 伝法2743番地の2	51-4091	2,875.60㎡	1,097.71㎡	11,733人	5,616	H24. 8.31 —	2 (1)	
今 泉	〒417-0001 今泉7丁目12番37号	51-4200	3,774.48㎡	848.36㎡	11,726人	5,641	H11. 3.25 —	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R8.4.1
今 泉 分 館	〒417-0001 今泉7丁目12番37号	51-4200	800.01㎡	454.36㎡ 212.05㎡	—	—	S48. 3.31 H12. 2.29		中央図書館今 泉分室併設
青葉台	〒417-0808 一色288番地の4	22-0600	4,553.92㎡	1,071.06㎡	9,460人	4,249	H13. 3.23 R 1.10. 1	2 (1)	
★吉 永	〒417-0847 比奈1447番地の1	34-1014	2,991.04㎡	1,082.90㎡ 321.73㎡	6,802人	3,129	S62. 3.10 —	2 (1)	東図書館併設
元吉原	〒417-0845 大野新田744番地の2	33-0170	2,995.51㎡	835.47㎡	6,989人	3,369	H 2. 3.24 H21. 4. 1	2 (1)	
須 津	〒417-0826 中里1143番地の1	34-0004	1,611.08㎡	574.31㎡	10,352人	4,521	H 3. 3.15 —	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R4.4.1
浮 島	〒417-0814 西船津215番地の2	38-0930	2,128.90㎡	437.51㎡	1,445人	618	S62. 2.10 —	2 (1)	
原 田	〒417-0852 原田485番地	52-0124	1,468.44㎡	924.97㎡	6,434人	2,878	S60. 3. 9 R 8. 5.29	2 (1)	面積・増改築年月 日はR8.7.1時点
★富士見台	〒417-0851 富士見台6丁目1番地の1	21-7102	3,077.86㎡	717.32㎡	5,487人	2,618	S58. 3.10 R 6. 3. 1	2 (1)	
神 戸	〒417-0856 さんどまき142番地	21-2203	3,480.66㎡	579.92㎡	3,797人	1,619	H 7. 3.15 —	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R7.4.1
吉永北	〒417-0805 鵜無ヶ淵162番地の1	21-3559	1,837.63㎡	519.61㎡	2,547人	1,160	H 4. 2.24 —	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R7.4.1
大 淵	〒417-0801 大淵2885番地の4	35-0002	5,105.69㎡	1,084.09㎡ 220.50㎡	11,609人	5,319	H 1. 3.25 H20. 3.11	2 (2)	中央図書館大 淵分室併設
★富士駅北	〒416-0913 平垣本町6番13号	63-5211	1,753.62㎡	1,174.44㎡	12,239人	6,157	H27. 2.27 —	2 (1)	
富士北	〒416-0951 米之宮町288番地	64-0099	2,441.00㎡	979.02㎡	9,147人	4,035	H14. 3.27 —	2 (1)	
富士駅南	〒416-0944 横割1丁目4番15号	63-2625	2,701.69㎡	999.79㎡	12,014人	5,907	H 9. 3.25 H28. 3.18	2 (1)	
田子浦	〒416-0933 中丸232番地	63-5209	2,168.21㎡	1,048.59㎡ 191.80㎡	14,303人	6,613	S60.12.10 H15. 3.20	2 (1)	中央図書館田 子浦分室併設
富士南	〒416-0949 森下52番地の1	64-3632	2,556.48㎡	1,197.70㎡	17,683人	7,993	H30. 5.31 —	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R8.4.1
★岩 松	〒416-0909 松岡841番地の3	63-5210	18,293.30㎡	998.99㎡	9,867人	4,435	R 3. 6.30 —	2 (1)	岩松小学校敷 地内共用
岩松北	〒416-0901 岩本88番地の1	60-8008	3,663.00㎡	715.66㎡	10,129人	4,446	H10. 3.20 —	2 (1)	
富士川	〒421-3305 岩淵121番地	81-1111	2,827.47㎡	917.97㎡	7,599人	3,422	H 3. 3.10 H21. 3. 6	2 (1)	
富士川 分 館	〒421-3305 岩淵121番地	81-1111	1,482.82㎡	548.66㎡	—	—	H 1. 4. 1 —		健康対策課から所 管替え H26.4.1
松 野	〒421-3303 南松野1792番地の2	56-1055	2,948.00㎡	1,323.40㎡	6,368人	2,896	H10. 1. 6 H20.10.10	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R4.4.1
★鷹 岡	〒419-0202 久沢836番地の1	71-3215	3,093.62㎡	1,199.92㎡	12,145人	5,508	H22. 8.27 —	2 (1)	
広 見	〒417-0862 石坂470番地の5	21-3444	2,716.96㎡	609.49㎡	12,063人	5,754	H5. 3.25 —	3 (0)	指定管理者による 管理・運営開始 R8.4.1
天 間	〒419-0205 天間1106番地の1	71-4007	3,425.59㎡	731.30㎡	6,320人	2,989	S59. 3.10 R 7. 2.28	2 (1)	
丘	〒419-0201 厚原2099番地の14	71-3961	2,652.92㎡	914.75㎡	13,873人	6,237	S59. 3.10 H15. 3.14	2 (1)	

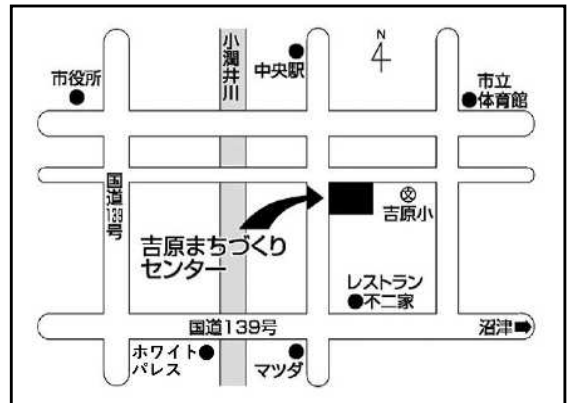
★印は統括センター

職員数欄の()内は会計年度任用職員数

吉原まちづくりセンター



《 案内図 》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	高嶺町6番3号	郵便番号	417-0044	
連絡先	(電話)0545-53-1580 (FAX)0545-53-8583			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝統括センター長、主任専門員、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和57年1月15日、令和5年3月17日(改修)			
設置年月日	昭和57年2月1日			
敷地面積	1,805.71㎡(内 借地704.11㎡)			
建物 延床面積	1,043.16㎡ (1階)513.37㎡ (2階)529.79㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ(2か所)、エレベーター			
駐車台数	28台	図書蔵書冊数	約600冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ102	デジタル防災無線 (MCA無線)	050	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくり室	25人	Wi-Fi有り
		調理実習室	24人	調理台6台
	2階	和室	25人	24.5畳
		視聴覚室	66人	Wi-Fi有り
		大会議室南	36人	
		大会議室北	48人	
		第1小会議室	6人	
		第2小会議室	24人	

●吉原地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	4.78km ² (推測値)
対象人口	11,533人
世帯数	6,051世帯
自治会数	40町内会

【地区の特色】

毎年6月に行われる、祇園祭に代表されるように、地域コミュニティとしての隣組の絆が強く、また、歴史と伝統を重んじる気風が強い地域です。

その反面、地元住民が郊外へ転居し、商店街に空き店舗ができてしまっている現状から、地域への愛着に変化も見られます。

吉原地区南部は田園地帯として、古くから農業を通じて地域コミュニティが醸成されてきましたが、都市化の進展に伴い地域コミュニティにも変化が生じつつあります。

【地区の歴史】

東海道五十三次の宿場町として栄えた吉原は、現在も富士市の中心として発展し、戦後、何度かの区画整理により吉原中心街から永田、津田にかけて整理されてきました。

最近では、郊外に大型店舗が進出したため、商店街の再開発等が進められています。

●利用できる設備

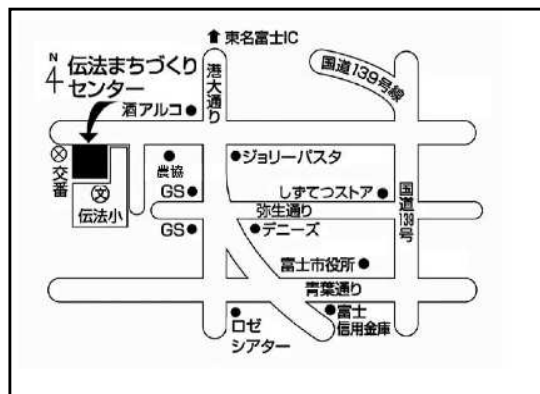
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、電子ピアノ、車いす、TV、DVDプレーヤー、ビデオデッキ、プロジェクター、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンテナ

伝法まちづくりセンター



《 案 内 図 》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	伝法2743番地の2	郵便番号	417-0061	
連絡先	(電話)0545-51-4091 (FAX)0545-53-8608			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成24年8月31日(改築)			
設置年月日	昭和48年4月1日			
敷地面積	2,875.60㎡			
建物 延床面積	1,097.71㎡ (1階)539.19㎡ (2階)558.52㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建			
主な設備	多目的トイレ、太陽光発電(10kw)、エレベーター			
駐車台数	39台	図書蔵書冊数	約1,000冊	
防災行政無線番号(5W)	ふじ103	デジタル防災無線(MCA無線)	051	
主な使用区分 ※事務室、図書コーナー、ロビー、倉庫等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	調理実習室	24人	調理台6台
		小会議室	30人	
		まちづくり室	24人	
	2階	多目的室	135人	Wi-Fi有り
		大会議室	54人	
		中会議室	42人	Wi-Fi有り
		和室	18人	20畳

●伝法地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	2.16km ² (推測値)
対象人口	11,733人
世帯数	5,616世帯
自治会数	19町内会
【地区の特色】	
伝法地区は戦前から拓けており、古くからある町内会と、その後都市基盤が整備されて住宅・工業地化が進み誕生した町内会、さらに近年建設された分譲マンション単独の町内会など多様な住民が暮らしています。 なお、まちづくり安全推進大会に代表されるように地区の一大イベントでは、住民が団結し、安全安心な住みよい地域づくりのために邁進しています。	
【地区の歴史】	
伝法地区は、古墳時代より人が定住していたものと思われ、現に伝法小学校運動場では7世紀初めの横穴式石室が発掘され、8～10世紀の頃の集落跡も確認されています。 反面、日乃出町や瓜島など新興住宅地も編入され、現在では伝法小学校の校区として広く町内会が組織されています。 また、富士市の中心市街地を形成する一団の地区でもあります。	

●利用できる設備

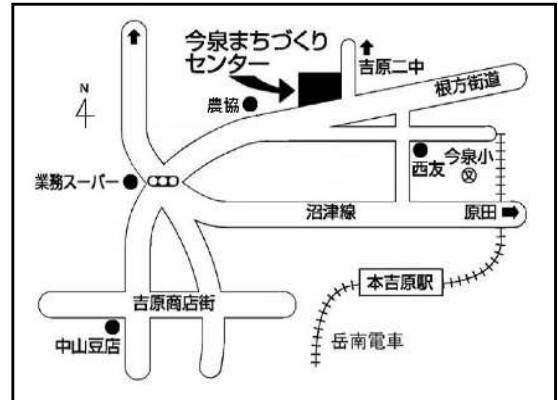
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、TV、DVDプレーヤー、ビデオデッキ、可動式スクリーン、CDデッキ、ワイヤレスアンプ

今泉まちづくりセンター(指定管理者による管理・運営)



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	今泉7丁目12番37号	郵便番号	417-0001	
連絡先	(電話)0545-51-4200 (FAX)0545-53-8469			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和48年3月31日(分館 増改築)、平成11年3月25日(本館 移転新築)			
設置年月日	昭和48年4月1日			
敷地面積	4,574.49㎡ (分館:800.01㎡)			
建物 延床面積	(本館) 848.36㎡ (分館) 666.41㎡ (本館)(1階)163.01㎡ (2階)344.85㎡ (3階)340.50㎡ (分館)(1階)250.31㎡ (2階)304.50㎡ (3階)111.60㎡ (1階と2階の一部(68㎡)は、今泉分室)			
建築構造	鉄筋コンクリート3階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	34台	図書蔵書冊数	中央図書館今泉分室 併設	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ104	デジタル防災無線 (MCA無線)	052	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	2階	第1研修室	16人	Wi-Fi有り
		第2研修室	12人	
		調理実習室	16人	調理台4台
		和室	20人	24畳
	3階	多目的ホール	91人	Wi-Fi有り
		第3研修室	28人	
	分館2階	集会室	72人	

●今泉地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	4.52km ² (推測値)
対象人口	11,726人
世帯数	5,641世帯
自治会数	30町内会
【地区の特色】	
市の中部に位置し、南には工業・商業地、北には住宅地が広がっています。 湧水が多く、地区の中央には今泉湧水群を水源とする「田宿川」が流れています。 準絶滅危惧種のナガエミクリをはじめとする水草や虫、水鳥等を観察できます。 今泉の歴史に欠かすことのできないのが、今川・武田・北条の三将軍盟が行われた舞台といわれる善得寺です。 その跡地とされる善得寺公園では、まちづくり協議会主催の「善得寺まつり」が毎年3月に開催されています。 また、街道にある「左富士」は、東海道の名勝となり、往時の記憶を遺す場所になっています。	
【地区の歴史】	
今泉地区は、源頼朝時代に瀬古村と名づけられ、その後、時代の変遷と共に1600年頃に善得寺村、1662年に今泉村と改称されました。 1888年に町村制が施行され、今泉、今宮、神戸、一色、石坂、依田橋を合わせて今泉村となりました。 その後の合併で、吉原町、吉原市を経て、現在の富士市となり、各地区の名称は大字として残されています。 地区には、源頼朝の時代につけられたとされる地名等が随所に見られ、古い歴史を感じさせます。	

●利用できる設備

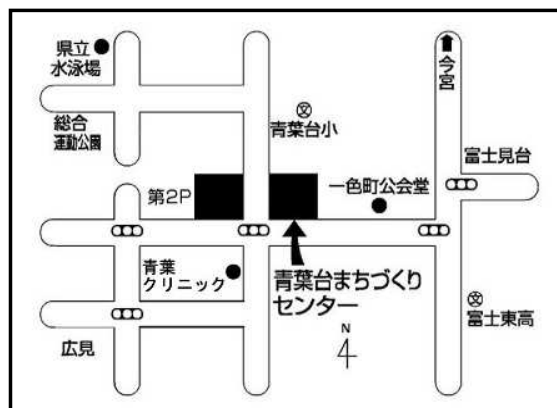
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、CD付カセットデッキ

青葉台まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	一色288番地の4	郵便番号	417-0808	
連絡先	(電話)0545-22-0600 (FAX)0545-23-1511			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成13年3月23日、平成31年3月28日(増築)、 令和元年10月1日(改築)			
設置年月日	平成13年4月1日			
敷地面積	4,553.92㎡			
建物 延床面積	732.19㎡ (別棟:多目的室)338.87㎡ (1階)383.90㎡ (2階)348.29㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ(2か所)、エレベーター			
駐車台数	54台	図書蔵書冊数	約3,600冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ105	デジタル防災無線 (MCA無線)	053	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくり室	15人	
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	第1研修室	70人	Wi-Fi有り
		第2研修室	16人	Wi-Fi有り
		第3研修室	12人	
		和室	18人	20畳
	別棟	多目的室	140人	

●青葉台地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	2.59km ² (推測値)
対象人口	9,460人
世帯数	4,249世帯
自治会数	10町内会
【地区の特色】	
平成10年4月に、広見、今泉、神戸地区の3地区の一部合併により誕生した青葉台地区は、住宅地が広がり、他地区から働き盛りの人々が住居を求めて多く転入しています。 このため、人口が年々増加し、市内でも平均年齢の若い地域ですが、古くからの住民と転入してきた方々が町内会行事や防犯活動などを通じ、一体となってまちづくりに取り組んでいます。 近年は、地区内に点在する茶畑の宅地化が進み、戸建て住宅やアパートの建設が増加しています。	
【地区の歴史】	
青葉台地区は、広見、今泉、神戸地区の一部を合併し、平成10年4月1日に誕生しました。 また、広見小学校区の児童数増加に伴い、青葉台小学校が同時に開校しました。 平成10年度から、地区町内会連合会、生涯学習推進会を結成して活動を開始し、現在は地区まちづくり協議会を中心に各種行事が活発に行われています。 毎年、世代間の交流や地域との連携強化を目的に「青葉台まつり」を開催し、多くの来場者で賑わっています。	

●利用できる設備

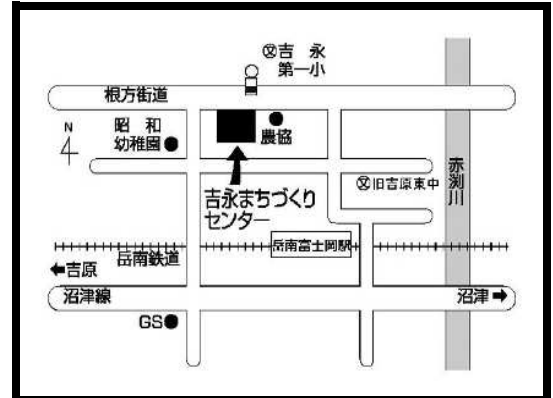
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式(多目的室)、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、プロジェクター、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ
--

吉永まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	比奈1447番地の1	郵便番号	417-0847	
連絡先	(電話)0545-34-1014 (FAX)0545-34-1262			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝統括センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和62年3月10日(改築)			
設置年月日	昭和45年11月1日			
敷地面積	2991,04㎡ (うち借地495.00㎡)			
建物 延床面積	1,404.63㎡ (東図書館321.73㎡含む) (1階)730.12㎡ (2階)674.51㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	60台	図書蔵書冊数	東図書館併設	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ106	デジタル防災無線 (MCA無線)	054	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	工作室	24人	Wi-Fi有り
		調理実習室	28人	調理台7台
	2階	集会室	135人	Wi-Fi有り
		第1研修室	50人	
		第2研修室	30人	
		第3研修室	80人	
		和室	60人	43畳

●吉永地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	4.931km ² (推測値)
対象人口	6,802人
世帯数	3,129世帯
自治会数	16町内会
【地区の特色】	
富士市の東部に位置し、根方街道をはさんで南北に広がる地域です。 山麓の豊かな自然と湧水に恵まれ、南は水田、北は畑・山林が広がっています。 主な産業は製紙産業で、関連した紙加工業、機械工業、薬品工業などの事業所が多くあります。 また、富士市に伝わるかぐや姫伝説ゆかりの地であり、かぐや姫にまつわる伝承や地名が古くから残されています。	
【地区の歴史】	
明治22年町村制が施行され比奈村、富士岡村、間門村、鶴無ヶ淵村、石井村、桑崎村が合併し吉永村となりました。 昭和30年に吉原市と合併し、村役場を吉永支所としました。 昭和41年11月の合併により新制「富士市」が誕生、昭和45年に支所を廃止し、吉永公民館(現吉永まちづくりセンター)を設置しました。	

●利用できる設備

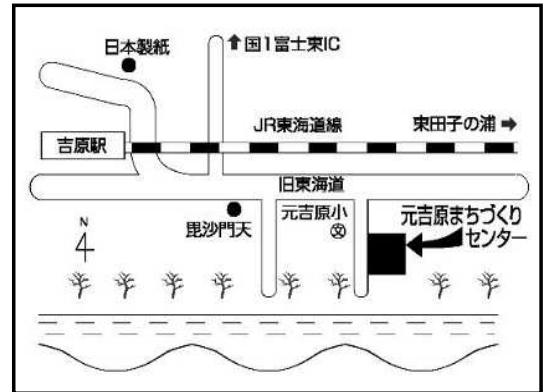
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ2台、車いす2台、TV(DVDのモニター)、DVDプレーヤー、プロジェクター、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ

元吉原まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	大野新田744番地の2		郵便番号	417-0845
連絡先	(電話)0545-33-0170 (FAX)0545-33-0255			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、専門員、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和45年11月25日、平成2年3月24日(移転新築) 平成21年4月1日(増築)			
設置年月日	昭和45年12月1日			
敷地面積	2995.51㎡(内 財産区用地479㎡)			
建物 延床面積	835.47㎡ (1階)551.97㎡ (2階)283.50㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	44台		図書蔵書冊数	約1,000冊
防災行政 無線番号(5W)	ふじ107		デジタル防災無線 (MCA無線)	055
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	多目的室	112人	Wi-Fi有り
		第1研修室	27人	Wi-Fi有り
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	集会室	93人	
		視聴覚室	24人	
		和室	22人	20畳

●元吉原地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	6.19km ² (推測値)
対象人口	6,989人
世帯数	3,369世帯
自治会数	17町内会
【地区の特色】	
元吉原まちづくりセンターのある元吉原地区は、東西約6キロ、南北1.5キロと東西に長く、東は沼津市と接し、北に沼川、西に田子の浦港、南は駿河湾に囲まれ、南側海岸沿いには広大な松林が広がり、非常に風光明媚な地区です。	
地区内を旧東海道の街道が貫き、達磨で有名な毘沙門天妙法寺もあります。	
毎年、旧正月に開催される毘沙門天大祭では、全国からたくさんの人々が集まります。	
この地区でも少子高齢化が近年急速に進み、富士市の中でも高齢化率が高い地区となっています。	
【地区の歴史】	
元吉原村は、明治22年3月に鈴川村・今井村・大野新田・松新田・田中新田・沼田新田・三柏原新田が合併してできました。	
吉原宿は、元々は鈴川・今井にあったことから、「元の吉原」という意味で村名になりました。	
また、「吉原」という名は、奈良時代にこの付近を「よし原」と呼んでいた事が由来のようです。	
元吉原村は、昭和30年に吉原市と合併し、その後昭和41年に2市1町の合併に伴い「富士市」の「元吉原地区」となりました。	

●利用できる設備

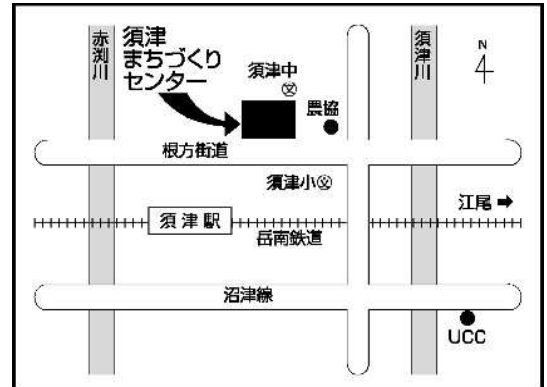
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、グランドピアノ、車いす、TV、DVDプレーヤー、ビデオデッキ、可動式スクリーン、CDデッキ
--

須津まちづくりセンター（指定管理者による管理・運営）



《 案 内 図 》



●施設概要

（令和8年4月1日現在）

所在地	中里1143番地の1	郵便番号	417-0826	
連絡先	(電話)0545-34-0004 (FAX)0545-34-0024			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和45年10月12日、平成3年3月15日(改築)			
設置年月日	昭和45年11月1日			
敷地面積	1,611.08㎡			
建物 延床面積	574.31㎡ (1階)289.91㎡ (2階)284.40㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	15台	図書蔵書冊数	約1,500冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ108	デジタル防災無線 (MCA無線)	056	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1学習室	31人	Wi-Fi有り
		第2学習室	20人	
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	集会室	80人	Wi-Fi有り
		第3学習室	31人	
		和室	27人	

●須津地区の概要

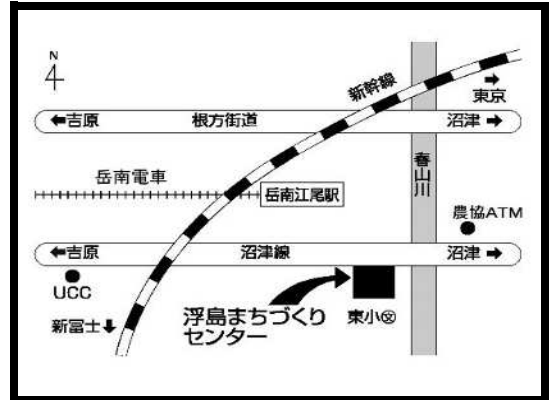
（令和8年4月1日現在）

対象面積	26.60km ² （推測値）
対象人口	10,352人
世帯数	4,521世帯
自治会数	19町内会
【地区の特色】	
自然に恵まれ、神社仏閣が多く点在し、古くからの伝統と歴史に育まれた地区です。 一方で、昭和49年に中里寿町、昭和54年に中里曙町、昭和58年には神谷緑町と土地の造成や工場跡地の分譲などにより3町内ができました。 また、昭和53年1月に神谷土地区画整理組合が設立し、区画整理が完了後、神谷新町、増川新町が新たにできるなど、他地区からの転入者の増加がみられます。 なお、平成4年から、江尾に県営住宅ができたのを皮切りに集合住宅が増えだし、それに伴い世帯数は増えていきましたが、人口はそれほど増えていませんので、須津地区にも、いわゆる核家族化がうかがえます。	
【地区の歴史】	
明治22年町村制が施行され、中里村、川尻村、神谷村、増川村、江尾村の5ヶ村が合併し須津村となりました。 昭和30年2月に吉原市と合併し、須津村役場を須津支所としました。 昭和41年11月の2市1町の合併によって新制富士市ができ、それに伴い昭和45年11月に須津支所を廃止し、一小学校区一公民館の原則をもって、生涯学習の拠点として須津公民館を設置しました。	
●利用できる設備（令和8年4月1日現在）	
AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、DVDプレイヤー、プロジェクター、スクリーン、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ	

浮島まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	西船津215番地の2	郵便番号	417-0814	
連絡先	(電話)0545-38-0930 (FAX)0545-34-4148			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和62年2月10日(移転新築)			
設置年月日	昭和48年1月13日			
敷地面積	2,128.90㎡			
建物 延床面積	437.51㎡ (1階)218.65㎡ (2階)218.86㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	41台	図書蔵書冊数	約1,000冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ109	デジタル防災無線 (MCA無線)	057	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1研修室	20人	Wi-Fi有り
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	集会室	70人	Wi-Fi有り
		第2研修室	25人	
		和室	30人	24畳

●浮島地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	6.19km ² (推測値)
対象人口	1,445人
世帯数	618世帯
自治会数	3町内会
【地区の特色】	
北は愛鷹連峰の南麓のなだらかな丘陵地帯に山林や茶畑が広がり、駿河湾が一望できる風光明媚な地域です。 また、地区南側は浮島沼低地に接していますが、現在では圃場整備が進み、広大な美田が広がっていて、豊かな農業地帯を形成しています。 人口推移から見ると、減少傾向にあり、この地域も他の地域と同じように高齢化が進んでいます。	
【地区の歴史】	
現在の富士市の大部分が旧富士郡に含まれていましたが、この浮島地区は旧駿東郡浮島村に属していました。 昭和28年に施行された「町村合併法」に伴い、駿東郡原村との合併の機運のなかで原町となりましたが、紆余曲折の末、原町の旧浮島村地区から昭和31年に浮島地区の境、西船津、船津の3町内が分離し、吉原市と合併し、その後昭和41年に2市1町の合併により新制「富士市」となりました。	

●利用できる設備

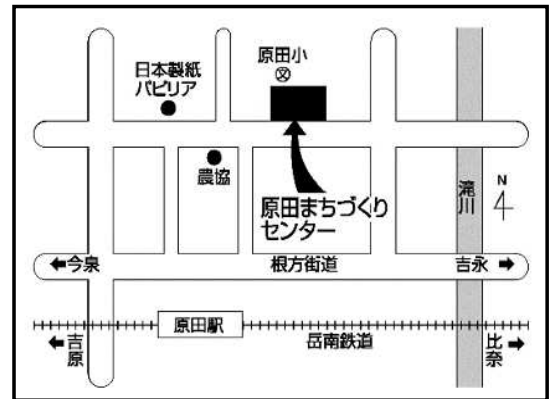
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、電子ピアノ、車いす、TV、スクリーン、CD付カセットデッキ、血圧計
--

原田まちづくりセンター



《 案内図 》



●施設概要

(令和8年7月1日現在)

所在地	原田485番地	郵便番号	417-0852	
連絡先	(電話)0545-52-0124 (FAX)0545-53-8579			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和46年2月22日(一部改修)、昭和60年3月9日(改築)			
	平成6年3月10日(増築)、令和8年5月29日(改修)			
設置年月日	昭和45年11月1日			
敷地面積	1,468.44㎡			
建物 延床面積	924.97㎡ (1階)458.35㎡ (2階)466.62㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	31台	図書蔵書冊数	約800冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ110	デジタル防災無線 (MCA無線)	058	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	小会議室	11人	Wi-Fi有り
		調理実習室	12人	調理台3台
	2階	多目的室	104人	Wi-Fi有り
		大会議室	54人	
		中会議室	15人	置き畳あり
		まちづくり室	9人	

●原田地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	4.45km ² (推測値)
対象人口	6,434人
世帯数	2,878世帯
自治会数	18町内会
【地区の特色】	
原田地区は、市内東部にあって、富士山や愛鷹山麓の恩恵を受け、古くから水の豊富などところとして知られ、明治時代から紙製造が盛んです。	
地区の中心を東名高速道路が東西に走っており、東名高速道路以南は、住宅と製紙工場が混在している工業地域です。	
以北は耕地で、近年特に市街化が進んでいます。	
原田は自然湧水が多く、特に永明寺やかがみ石は、現在も豊富な水量を誇っています。	
【地区の歴史】	
明治22年、町村制が施行され、原田村、三ツ沢村が合併し、原田村となりました。	
昭和30年2月に吉原市と合併し、原田村役場を原田支所としました。	
昭和41年11月、岳南2市1町(吉原市、富士市、鷹岡町)の合併により、現在の富士市が誕生しました。	
昭和45年11月、旧原田支所並びに旧小学校講堂の建物を改修して原田公民館(現原田まちづくりセンター)が開館しました。	
歴史伝説として「かがみ石」「五社ノ宮」「滝川浅間」等があり、鎧ヶ渚の謎伝説にちなみ地区行事として、平成22年まで7月に鎧ヶ渚親水公園まつりを行っていました。	
その後、平成23年からは宇東川遺跡もある原田公園を舞台に、原田公園まつりを行うようになりました。	
製紙のまちの歴史としては、地元資本による近代的な製紙工場として明治27年に原田製紙が設立され、後の製紙工場林立の礎となりました。	

●利用できる設備

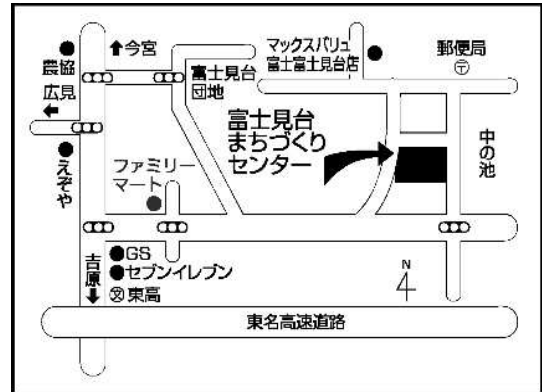
(令和8年7月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、グランドピアノ、車いす、TV、BDプレーヤー、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ

富士見台まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	富士見台6丁目1番地の1	郵便番号	417-0851	
連絡先	(電話)0545-21-7102 (FAX)0545-22-0128			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝統括センター長、上席主事、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和58年3月10日、平成4年3月24日(増築)令和6年3月1日(改修)			
設置年月日	昭和58年4月1日			
敷地面積	3,077.86㎡			
建物 延床面積	717.32㎡ (1階)470.37㎡ (2階)246.95㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ(2か所)、エレベーター			
駐車台数	50台	図書蔵書冊数	約600冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ111	デジタル防災無線 (MCA無線)	059	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくり室	14人	
		調理実習室	12人	調理台3台
		多目的ホール	100人	Wi-Fi有り
	2階	会議室1	42人	Wi-Fi有り
		会議室2	18人	置き畳25畳有り

●富士見台地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	2.215km ² (推測値)
対象人口	5,487人
世帯数	2,618世帯
自治会数	10町内会
【地区の特色】	
旧原田三ツ沢の一部の住民と新興住宅地の住民とが共存している地域です。 住民の大半は、全国各地からきた県外出身者であるのが特徴の一つといえます。 このため、物の見方も考え方も多様化していますが、ここを永住の地として定め、まちづくりに意欲的に取り組んでいます。	
【地区の歴史】	
富士見台地区は市の北東部に位置し、昭和45年から51年にかけて、静岡県住宅供給公社によって丘陵に広がる茶畑と雑木林を切り開いて開発造成が行われました。 その造成による分譲新興住宅地である富士見台団地と旧原田三ツ沢北端の住宅地から形成されています。	

●利用できる設備

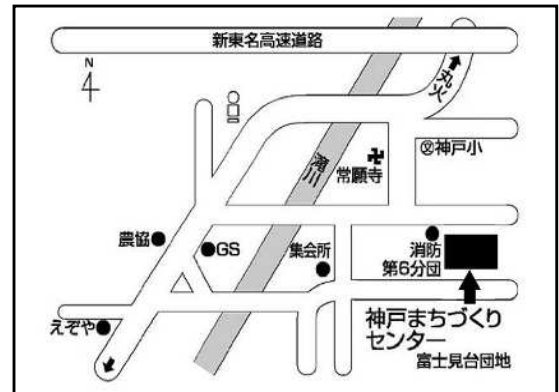
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、グランドピアノ、車いす、プロジェクター、CD付カセットデッキ、卓球台、血圧計

神戸まちづくりセンター（指定管理者による管理・運営）



《 案 内 図 》



●施設概要

（令和8年4月1日現在）

所在地	さんどまき142番地	郵便番号	417-0856	
連絡先	(電話)0545-21-2203 (FAX)0545-22-0127			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成7年3月15日(移転新築)			
設置年月日	昭和51年4月1日			
敷地面積	3,480.66㎡ (北側駐車場558.15㎡を含む)			
建物 延床面積	579.92㎡ (1階)316.84㎡ (2階)263.08㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	55台	図書蔵書冊数	約1,200冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ112	デジタル防災無線 (MCA無線)	060	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1研修室	28人	Wi-Fi有り
		和室	27人	22畳
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	集会室	84人	Wi-Fi有り
		第2研修室	24人	
		第3研修室	16人	

●神戸地区の概要

（令和8年4月1日現在）

対象面積	5.16km ² （推測値）
対象人口	3,797人
世帯数	1,619世帯
自治会数	3町内会
【地区の特色】	
神戸地区は、富士市の北東部、富士山麓と愛鷹山麓が接する赤淵川流域の西側に位置する起伏を伴った丘陵地帯にあり、中央に一級河川の滝川が南北に流れています。 地区の北部は主にヒノキが植林された山林地帯、中部は香花(しきみ)とお茶の畑作地帯、南部は富士見台団地に接し、茶畑を残しながらも宅地化が進んでいます。 大字は今宮、神戸のほか三ツ沢の北部とさんどまき、一色、原田の一部が含まれています。	
【地区の歴史】	
神戸には、寺下遺跡があり、縄文時代から人が住んでいたことが知られています。 また、鎌倉時代以前、箱根越えの東海道が無く、足柄越えの東海道だった頃、滝川沿いを通る十里木街道(県道富士裾野線)は、東西に旅する人々の多くが通行した主要街道でした。 鎌倉時代には、日蓮上人が鎌倉から身延に行く途中、神戸の祖師堂に寄ったとの伝説が残っています。 江戸時代の神戸村、今宮村、一色村は、東泉院の寺社領であり、水口の湧水利用など歴史的に強い結びつきがありました。 明治22年に神戸村、今宮村、一色村は、今泉村と合併して富士郡今泉村が成立、村は大字となり、その後、昭和17年の合併で吉原町となり、昭和23年には吉原市、そして、昭和41年の2市1町の合併で富士市となりました。 平成10年、青葉台小学校の開校に伴い大字一色の大部分が青葉台地区に編入されたため、現在の神戸地区は、主に大字神戸と今宮、さんどまきから成っています。	

●利用できる設備

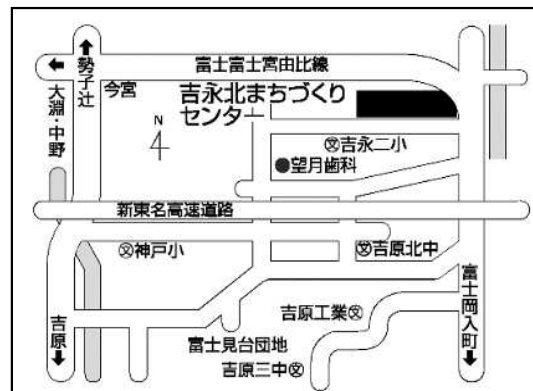
（令和8年4月1日現在）

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、TV、DVDプレイヤー、ビデオデッキ、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ

吉永北まちづくりセンター（指定管理者による管理・運営）



《 案 内 図 》



●施設概要

（令和8年4月1日現在）

所在地	鵜無ヶ淵162番地の1	郵便番号	417-0805	
連絡先	(電話)0545-21-3559 (FAX)0545-23-0401			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成4年2月24日			
設置年月日	平成4年4月1日			
敷地面積	1,837.63㎡			
建物 延床面積	519.61㎡ (1階)272.67㎡ (2階)246.94㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	19台	図書蔵書冊数	約1,000冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ113	デジタル防災無線 (MCA無線)	061	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	おもいやりルーム	20人	置き畳式
		なのはなルーム	—	まちづくり協議会 事務室
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	集会室	100人	Wi-Fi有り
		第1研修室	20人	Wi-Fi有り
		第2研修室	20人	

●吉永北地区の概要

（令和8年4月1日現在）

対象面積	4.79km ² （推測値）
対象人口	2,547人
世帯数	1,160世帯
自治会数	9町内会

【地区の特色】

林業を中心として栄えてきた以前からの集落の住民と、昭和50年代に造成された地域の住民が共存している地区です。

特色のある伝統文化が保存され、次世代へ伝えようと地区全体で取り組んでいます。

また、「みんなで支えるまちづくり 夢と希望で 未来へつなぐ」をまちづくり行動計画のキャッチフレーズとしており、ふれあいある心豊かなまちを目指しています。

【地区の歴史】

吉永北地区は富士市の北東にあり、海拔は概ね200メートルと高い位置になります。

北には霊峰富士をいただき、東には愛鷹連山の山々、南を見ると駿河湾が一望できる自然豊かな風光明媚な場所です。

1万5千年ほど前から人が住んでいた地区で、旧石器時代から弥生時代に至るまでの遺跡や出土品が発見されています。

源頼朝の富士裾野での大巻狩りが行われた際には、鶴無ヶ淵や勢子辻、間門など、これにちなんだ地名が多くつけられました。

戦国時代には甲斐武田を所縁とする者の移住もあり、今の吉永北地区各集落として形成されました。

桑崎町、石井町、間門町、鶴無ヶ淵1丁目、勢子辻町の5町内の他、その後に陽光台団地（東町、南町、西町）及び鶴無ヶ淵2丁目の4町内が加わり9町内となりました。

●利用できる設備

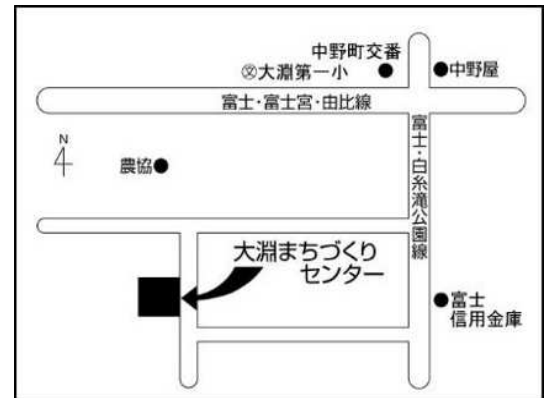
（令和8年4月1日現在）

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、TV、DVDプレーヤー、可動式スクリーン、CDラジカセ、プロジェクター

大淵まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	大淵2885番地の4	郵便番号	417-0801	
連絡先	(電話)0545-35-0002 (FAX)0545-35-0005			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任4人＝センター長、主査、事務補助員 サービスコーナー支援員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成元年3月25日(移転新築) 平成20年3月11日(改築)			
設置年月日	昭和45年11月1日			
敷地面積	5,105.69㎡ (うち借地2,130.69㎡)			
建物 延床面積	1304.59㎡(図書館220.50㎡含む) (1階)661.64㎡ (2階)642.95㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ(2か所)、エレベーター			
駐車台数	95台	図書蔵書冊数	図書館分室	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ114	デジタル防災無線 (MCA無線)	062	
主な使用 区分 ※事務室、ロ ビー、倉庫等 は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1研修室	24人	Wi-Fi有り
		調理実習室	17人	調理台4台
	2階	第2研修室	28人	
		第3研修室	30人	
		第4研修室	36人	
		多目的ホール	120人	Wi-Fi有り
		和室	18人	16畳

●大淵地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	52.48km ² (推測値)
対象人口	11,609人
世帯数	5,319世帯
自治会数	22町内会
【地区の特色】	
大淵地区は市の北部に位置し、市域のおよそ5分の1を占める広大な地区ですが、そのほとんどが市街化調整区域という市街化を抑制する区域となっています。区域の中部から北部にかけては、山林や茶畑などが広がり自然や緑が多い区域で、南部のごく一部だけが市街化区域となっています。	
城山、希望ヶ丘、大峯などの分譲住宅団地が形成され、地区内の人口増加につながりました。	
また、県内で例を見ないほど福祉、医療、教育施設が集積しています。	
【地区の歴史】	
明治22年3月、人口2,132人、400世帯の大淵村が誕生し、昭和30年4月には合併により吉原市となりました。その後、昭和41年11月1日の2市1町(吉原市、富士市、鷹岡町)の合併により、新制富士市が誕生しました。	

●利用できる設備

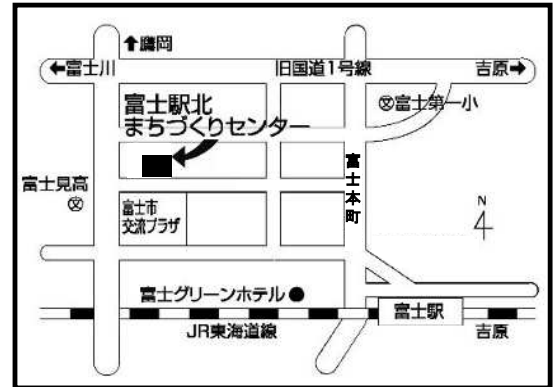
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、ピアノ、車いす、TV、VTR・DVDプレイヤー、プロジェクター、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ
--

富士駅北まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	平垣本町6番13号	郵便番号	416-0913	
連絡先	(電話)0545-63-5211 (FAX)0545-63-5201			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝統括センター長、主事、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成27年2月27日			
設置年月日	昭和26年12月6日			
敷地面積	1,753.62㎡			
建物 延床面積	1,174.44㎡ (1階)587.22㎡ (2階)587.22㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	20台	図書蔵書冊数	なし	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ115	デジタル防災無線 (MCA無線)	037	
主な使用 区分 ※事務室、図書 コーナー、ロビー、 倉庫等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	大研修室1	36人	
		団体室	16人	
		調理実習室	20人	調理台5台
	2階	小研修室	16人	
		大研修室2	36人	
		多目的室A	56人	Wi-Fi有り
		多目的室B	49人	Wi-Fi有り
		和室	35人	27畳

●富士駅北地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	3.66km ² (推測値)
対象人口	12,239人
世帯数	6,157世帯
自治会数	26区
【地区の特色】 かつて東海道の間宿として発展し、現在でもJR富士駅周辺は市内有数の繁華街となっています。 西側は商業施設が中心ですが、東側は一般住宅が多く建ち並びます。 また、公共交通の結節点であることから、市内のさまざまな地域はもちろん、周辺市町村からも多くの人々が集まります。	
【地区の歴史】 富士地区は、明治22年から昭和初期まで『加島村』と呼ばれ、平垣・柚木・本市場・蓼原・横割・森島・宮下などの地域から構成されており、当時は『加島五千石』と称されるほど広大な水田地帯が広がっていました。 その中でも富士駅北に位置する地域は、昭和から平成初期にかけて商業の中心地としてまちの発展をけん引してきました。 現在は、富士駅北口周辺地区の再整備をきっかけに、まちおこしへの機運が高まっています。	

●利用できる設備

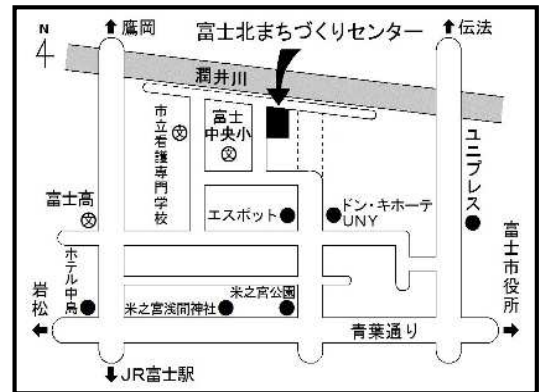
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式(多目的室)、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、TV、DVDプレーヤー、プロジェクター、移動式スクリーン、ワイヤレスアンプ、グラウンドゴルフ

富士北まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	米之宮町288番地	郵便番号	416-0951	
連絡先	(電話)0545-64-0099 (FAX)0545-66-2897			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成14年3月27日(新築)			
設置年月日	平成14年4月1日			
敷地面積	2,441.00㎡			
建物 延床面積	979.02㎡ (1階)358.56㎡ (2階)299.91㎡ (3階)320.55㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート3階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	45台	図書蔵書冊数	約1,000冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ116	デジタル防災無線 (MCA無線)	038	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1研修室	26人	Wi-Fi有り
	2階	第2研修室	18人	
		第3研修室	18人	
		調理実習室	16人	調理台4台
		和室	24人	12畳
	3階	多目的室	120人	Wi-Fi有り

●富士北地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	2.27km ² (推測値)
対象人口	9,147人
世帯数	4,035世帯
自治会数	8区
【地区の特色】	
富士北地区は、平成14年4月に富士駅北地区から分かれて誕生した地区です。潤井川の南に位置し、東は商業地域として様変わりし、急激に発展している場所でもあります。 西は住宅地として、人口とともに世帯数も増加の傾向にあります。	
【地区の歴史】	
富士北地区は、古くは加島五千石の中島を核に、現在の青葉通りから潤井川へかけて広がっていた田園地域でした。 現在は、住居市街の中心軸となる道路整備で商業化が進み、日々発展している市の中心地です。 多くの市民が潤い憩う、中央公園、米之宮公園及び緑道は、安全・安心の住みよいまち形成の礎を担っています。	

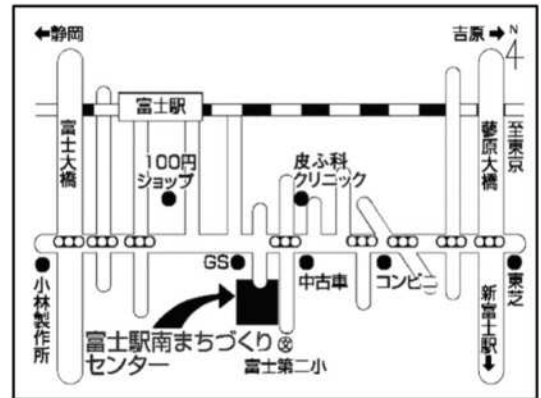
●利用できる設備

(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、プロジェクター、CD付カセットデッキ

富士駅南まちづくりセンター

《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	横割1丁目4番15号	郵便番号	416-0944	
連絡先	(電話)0545-63-2625 (FAX)0545-62-0754			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和49年3月31日、平成9年3月25日(増築)、 平成28年3月18日(改築)			
設置年月日	昭和49年4月1日			
敷地面積	2,701.69㎡ (内 借地758.00㎡)			
建物 延床面積	999.79㎡ (1階)502.77㎡ (2階)497.02㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	50台	図書蔵書冊数	約1,000冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ117	デジタル防災無線 (MCA無線)	039	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくりルーム	15人	
		会議室1	18人	
		会議室2	22人	
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	小木の里ホール	140人	Wi-Fi有り
		会議室3・4	62人	Wi-Fi有り
		和室	26人	18畳

●富士駅南地区の概要(令和8年4月1日現在)

対象面積	2.56km ² (推測値)
対象人口	12,014人
世帯数	5,907世帯
自治会数	9区
【地区の特色】	
「小木の里まつり」は、平成2年に地区の総力を結集して第1回を開催しました。 以来、住民の地域活動への関心は飛躍的に高まり、活力ある地区へ大きく変貌を遂げてきました。 地域のシンボリック的存在だった横割八幡宮のクスノキが市の天然記念物に指定され、益々親しまれています。	
【地区の歴史】	
「小木の里」と呼ばれていた鎌倉時代、この辺りは富士川の河原でしたが、水戸嶋村、横割村、十兵衛などの集落は既に点在し、延宝2年(1674年)の「雁がね堤」完成により、多くの村人が定住するようになりました。 東海道本線が開通して20年後の明治42年4月に「富士駅」が開設し、特産であった梨などを運搬するための道路が整備され、昭和19年には富士川河口付近へ連絡飛行場を設置するため、飛行場用地(宮下神社先)から富士駅までの「軍用道路」が完成しました。 これらの道路整備とともに商業・工業が発展し、それに携わる人々も定住したため、商・工・住が混在する地域として繁栄してきました。 昭和56年に森島と宮下が富士南地区へ、昭和58年に十兵衛北が駅北地区へ、平成元年に水戸島上(一部は水戸島上南となりました。)が駅北地区へ地区換えとなりました。 現在の富士駅南地区は9区で、JR東海道本線富士駅を中心とした沿線南側の東西に細長い地域です。	

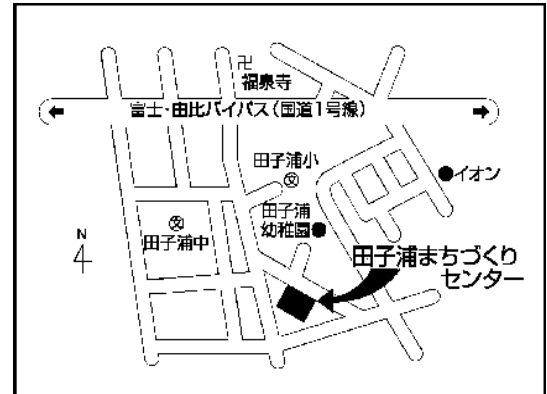
●利用できる設備(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、グランドピアノ、アップライトピアノ、車いす、TV、DVD再生機(VHSデッキ付)、CD付カセットデッキ、ホワイトボード、ワイヤレスアンテナ

田子浦まちづくりセンター



《 案 内 図 》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	中丸232番地	郵便番号	416-0933	
連絡先	(電話)0545-63-5209 (FAX)0545-62-0985			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、上席主事、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和44年5月31日(改築)、昭和60年12月10日(移転新築) 平成15年3月20日(増築)			
設置年月日	昭和35年10月1日			
敷地面積	2,168.21㎡			
建物 延床面積	1,240.39㎡ (1階)654.90㎡ (2階)585.49㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	45台	図書蔵書冊数	田子浦分室併設	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ118	デジタル防災無線 (MCA無線)	040	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1研修室	20人	
		第2研修室	10人	
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	多目的ホール	100人	Wi-Fi有り
		集会室	50人	Wi-Fi有り
		視聴覚室	20人	
		和室	30人	22畳

●田子浦地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	5.08km ² (推測値)
対象人口	14,303人
世帯数	6,613世帯
自治会数	16区

【地区の特色】

田子浦地区の人たちは、昔から海の恵みを受けて漁業に携わってきたり、潤井川からの下堀用水を引いて農業を営んできました。

しかしながら、近年は工場や商店に勤める人が多くなり、漁業や農業に従事する人も兼業が多くなり、生活様式も大きく変化しました。

この地区の交通網は、国道1号が田子浦地区を東西に横切り、昭和63年に新幹線新富士駅が開駅し、一躍、田子浦は、富士市のみならず、静岡県東部の交通の拠点となりました。

新幹線を利用すれば約10分で静岡に、約1時間で東京に着くことができます。

【地区の歴史】

田子浦地区は、明治22年に、前田・柳島・川成島・宮島・五貫島・中丸・田子・鮫島の八か村が合併して田子浦村が誕生しました。

さらに、昭和29年には富士町・田子浦村・岩松村が合併し「富士市」となり、昭和41年には吉原市・鷹岡町と合併、平成20年には富士川町と合併して、現在の富士市になっています。

昭和30年代半ばから、地区は他に見られない大きな変貌を遂げました。

港が築かれ、新幹線や国道が横断し、企業も誘致され、住宅も建ち並びました。

社会教育活動についての意識も高く、地区まちづくり協議会を中心に、各種の行事等が活発に行われています。

●利用できる設備

(令和8年4月1日現在)

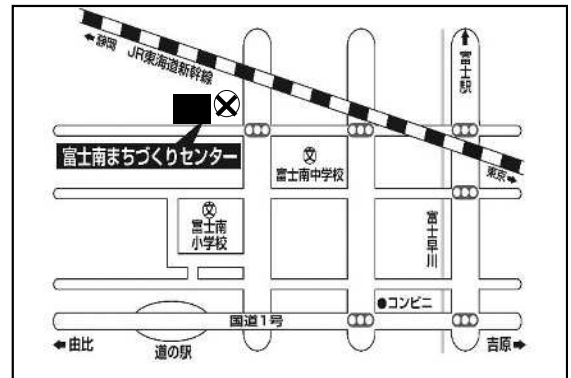
AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、ピアノ、車いす、TV、ビデオデッキ、CD付カセットデッキ

富士南まちづくりセンター

(指定管理者による管理・運営)



《 案 内 図 》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	森下52番地の1	郵便番号	416-0949	
連絡先	(電話)0545-64-3632 (FAX)0545-62-0829			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成30年5月31日(移転新築)			
設置年月日	昭和56年4月1日			
敷地面積	2,556.48㎡			
建物 延床面積	1,197.70㎡ (1階)640.97㎡ (2階)556.73㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ(2か所)、エレベーター			
駐車台数	45台	図書蔵書冊数	約500冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ119	デジタル防災無線 (MCA無線)	041	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくり室	24人	
		調理室	17人	調理台5台
		大会議室	42人	Wi-Fi有り
	2階	小会議室	20人	
		中会議室	45人	
		和室	18人	20畳
		多目的室1	49人	Wi-Fi有り
		多目的室2	42人	Wi-Fi有り

●富士南地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	4.49km ² (推測値)
対象人口	17,683人
世帯数	7,993世帯
自治会数	11区
【地区の特色】	
「ききょうの里」 江戸時代、富士川の氾濫によって富士南地区一帯に築かれた堤防が「帰郷堤」と呼ばれたことから名付けられました。 この堤防を造った勘定奉行土岐摂津守の家紋が「桔梗」だったこと、堤防ができてから人々が安心して故郷に帰ってきたことが「帰郷堤」の由来とされています。 また、第二次大戦中の陸軍富士飛行場の建設により立ち退かされた住民が、戦後、再びその地に帰郷したことも、住民の「ききょう」という言葉への思いを強めています。	
【地区の歴史】	
富士南地区は、富士飛行場跡地の開拓、昭和41年の2市1町の合併による新制「富士市」の誕生、昭和47年の「線引き」による市街化区域への区分などにより急速に宅地化が進みました。 区域は、昭和53年に開校した富士南小学校の校区と同一です。 昭和56年の富士南公民館の開設に合わせ、富士駅南地区の一部及び田子浦地区の一部をもって組織されました。	

●利用できる設備

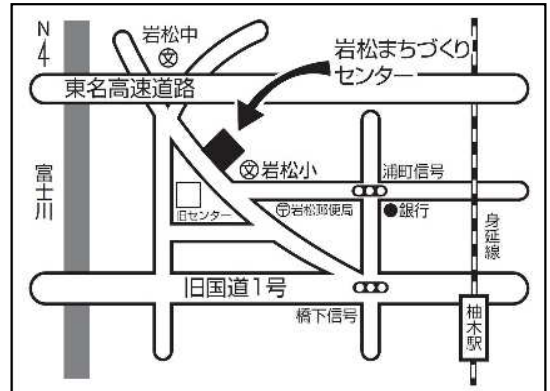
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、電子ピアノ、車いす、ブルーレイプレイヤー、DVDプレイヤー、CDプレイヤー、プロジェクター、可動式スクリーン、ワイヤレスアンプ	
--	--

岩松まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	松岡841番地の3	郵便番号	416-0909	
連絡先	(電話)0545-63-5210 (FAX)0545-63-5212			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝統括センター長、主事、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	令和3年6月30日(移転新築)			
設置年月日	昭和35年10月1日			
敷地面積	18,293.30㎡(岩松小学校敷地内共用)			
建物 延床面積	998.99㎡ (1階)543.99㎡ (2階)455.00㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ(2か所)、エレベーター			
駐車台数	36台	図書蔵書冊数	約1,100冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ120	デジタル防災無線 (MCA無線)	042	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	会議室1	28人	Wi-Fi有り
		まちづくり室	18人	
		調理実習室	17人	調理台5台
	2階	多目的室	116人	Wi-Fi有り
		会議室2	26人	
		会議室3	19人	
		和室	20人	20畳

●岩松地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	1.820km ² (推測値)
対象人口	9,867人
世帯数	4,435世帯
自治会数	7区

【地区の特色】

既に住宅地として完成された地区であるため、従来から居住している住民の割合が多いと考えられます。

また、農地の転用等による賃貸住宅の建築により、各町内における世帯数は年々増加しています。

毎年10月には、先人の偉業を称え、人と水との係わりを見つめ直すため、かりがね祭りを開催しています。

壮大な投げ松明をメインアトラクションとした、富士市でも規模の大きい祭りのひとつとなっています。

【地区の歴史】

岩松地区は、富士川沿いに位置しています。

昔から富士川の度重なる氾濫に悩まされてきましたが、江戸時代に古郡氏親子三代による富士川治水事業が行われたことによって地区のシンボルであるかりがね堤が完成し、現在に至っています。

以前は松岡と岩本の両地域で岩松地区とされていましたが、平成10年から岩本を中心とした地域が岩松北地区として分離しました。

●利用できる設備

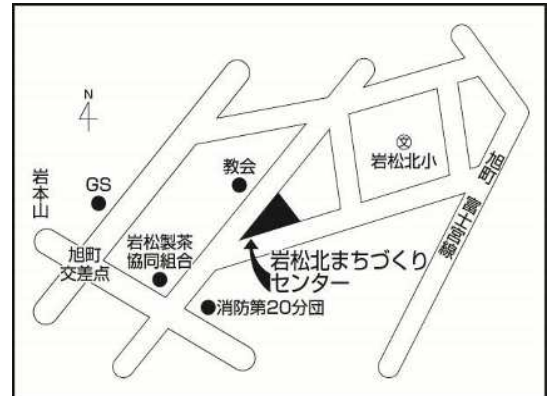
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、TV、ブルーレイプレイヤー、DVDプレイヤー、プロジェクター、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ

岩松北まちづくりセンター



《 案 内 図 》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	岩本88番地の1	郵便番号	416-0901	
連絡先	(電話)0545-60-8008 (FAX)0545-60-8001			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成10年3月20日(新築)			
設置年月日	平成10年4月1日			
敷地面積	3,663.00㎡			
建物 延床面積	715.66㎡ (1階)371.38㎡ (2階)344.28㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	53台	図書蔵書冊数	約1,200冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ121	デジタル防災無線 (MCA無線)	043	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1研修室	24人	
		和室	24人	12畳＋10畳
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	第2研修室	16人	Wi-Fi有り
		第3研修室	12人	
		ホール	100人	Wi-Fi有り

●岩松北地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	4.72km ² (推測値)
対象人口	10,129人
世帯数	4,446世帯
自治会数	11区
【地区の特色】	
岩松北地区は、富士市の西側、岩本山の麓に暴れ川と言われた日本三大急流の一つである富士川が流れこんでできた緩やかで肥沃な扇状地に位置しており、日蓮上人ゆかりの實相寺の門前町である古からの町と、田畑の宅地化による新しい町が混在しています。 地区のシンボルは、富士山や駿河湾を一望できる、標高193メートルの岩本山があります。 また、令和6年3月に完成した「富士山かりがね橋」の開通により、富士川・松野地区と繋がり、新たな人の流れが生まれています。	
【地区の歴史】	
岩松北地区は、平成10年4月に岩松地区から分かれて誕生した地区です。 實相寺の門前町として発展し、水害の多い地区でしたが、江戸時代初期に、「雁堤」の築堤による新田開発が進み、現代の基礎ができました。 近年は、都市化の傾向が強まり、宅地化が進んでいます。	

●利用できる設備

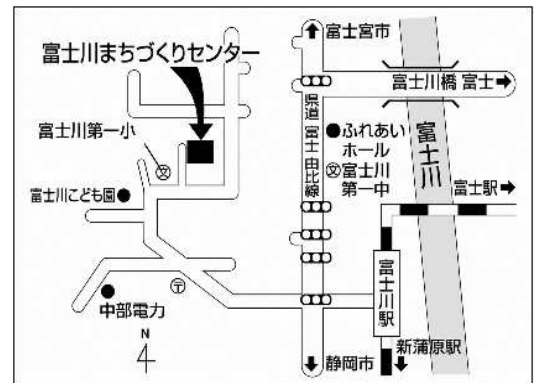
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、CD付カセットデッキ

富士川まちづくりセンター



《 案 内 図 》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	岩淵121番地	郵便番号	421-3305	
連絡先	(電話)0545-81-1111 (FAX)0545-81-1113			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成3年3月10日(新築)、平成21年3月6日(改修)、平成元年4月(分館新築)			
設置年月日	平成20年11月1日			
敷地面積	2,827.47㎡(本館)、1,482.82㎡(分館)			
建物 延床面積	917.97㎡ (本館) (1階)414.94㎡(2階)458.09㎡(3階)44.94㎡ 548.66㎡ (分館)			
建築構造	鉄筋コンクリート3階建(本館)、鉄筋コンクリート造平屋建(分館)			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	35台	図書蔵書冊数	約800冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ122	デジタル防災無線 (MCA無線)	044	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	和室	24人	24畳
	2階	会議室(1)	40人	Wi-Fi有り
		会議室(2)	20人	
		会議室(3)	15人	
		会議室(4)	10人	
		多目的室	88人	Wi-Fi有り
	分館1階	分館会議室	25人	ホール併用時55人
	分館1階	分館調理室	20人	調理台5台

●富士川地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	13.06km ² (推測値)
対象人口	7,599人
世帯数	3,422世帯
自治会数	25区
【地区の特色】	
富士川地区は、南アルプスを源とする日本三大急流の一つである富士川下流西岸に位置する、豊かな緑と温暖な気候に恵まれた文化と歴史のまちです。 地区の地形は、一部平坦地を除きほとんどが急峻な山地となっていて、平坦地には製紙等の工場が、富士川沿いの丘陵地には温暖な気候を利用した柑橘類やキウイフルーツなどの果樹園が広がっています。 また、平成12年に開業した東名高速道路上り線の富士川サービスエリアに併設した富士川楽座、ふじかわキウイマラソン及びふじかわ夏まつりといったイベントなどに地区内外から多くの人が集まっています。	
【地区の歴史】	
富士川地区は、縄文時代早期には人が暮らしていたことが、木島遺跡等の遺跡群からわかっています。 また、昔から東西南北の人と物の交流要地であり、特に江戸時代には徳川幕府の公領地となり、富士川の渡船と甲州との舟運で栄えました。 明治時代に入ると、東海道線岩淵駅(現在の富士川駅)の開設により製紙業や製材業が発達しました。 地区内には、明治時代後期に宮内大臣田中光顕が建築した「古谿荘」があり、平成17年に国の重要文化財に指定されました。 平成20年11月1日に富士市に合併しましたが、現在も東名高速道路をはじめとした主要幹線が通り、交通の要所として位置づけられています。	

●利用できる設備

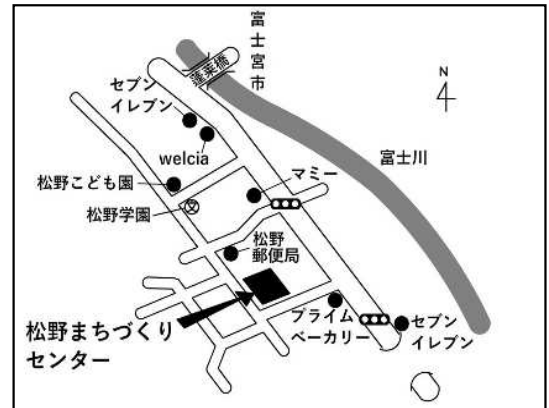
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、TV、DVDプレーヤー、ビデオデッキ、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ

松野まちづくりセンター（指定管理者による管理・運営）



《 案内図 》



●施設概要

（令和8年4月1日現在）

所在地	南松野1792番地の2		郵便番号	421-3303
連絡先	(電話)0545-56-1055 (FAX)0545-56-1058			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成10年1月6日(竣工)、平成20年10月10日(改修)			
設置年月日	平成20年11月1日			
敷地面積	2,948.00㎡			
建物 延床面積	1,323.40㎡ (1階)835.61㎡ (2階)487.79㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、移動観覧席、エレベーター			
駐車台数	47台	図書蔵書冊数	約1,350冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ123	デジタル防災無線 (MCA無線)	045	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくり室	18人	
		調理室	20人	調理台5台
		多目的ホール	200人	Wi-Fi有り
	2階	会議室(1)	26人	
		会議室(2)	20人	
		大会議室	60人	Wi-Fi有り
		和室	17人	15畳

●松野地区の概要

（令和8年4月1日現在）

対象面積	17.86km ² （推測値）
対象人口	6,368人
世帯数	2,896世帯
自治会数	9区
【地区の特色】	
松野地区は、市域の西北、富士川の右岸に位置し、東に富士川、西に大久保山を配し、計画的に整備された住宅団地や集落地及び農用地、森林で構成され、集落環境と都市的土地利用との調和が図られた緑豊かな住居地域です。	
当地区には、富士川の鮎釣り、山間地のゴルフ場、ハイキングコース、身延道等の観光やレジャー及び歴史的遺産が多数あります。	
【地区の歴史】	
松野地区は、古くから人々が生活を営んでいた地区であり、平安時代の集落跡が発見されています。	
明治22年、町村制が施行され、南松野村・北松野村が合併し松野村となりました。	
さらに昭和32年4月には富士川町と合併し、平成20年11月1日には富士市と合併し現在に至ります。	
江戸時代には、富士川渡船や甲州との舟運として、現在は富士川身延線バイパスの開通により、古くから東西南北の交通の要所となっています。	

●利用できる設備

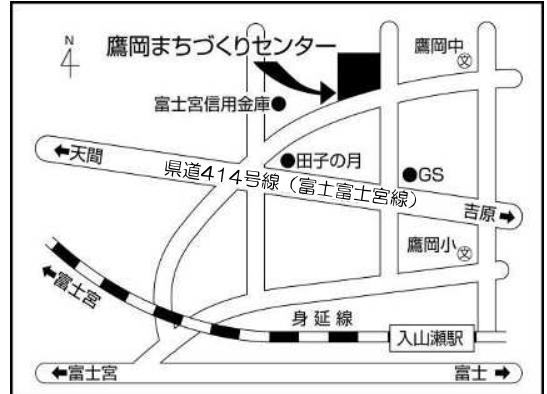
（令和8年4月1日現在）

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、プロジェクター、CD付カセットデッキ、木工用具一式

鷹岡まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	久沢836番地の1	郵便番号	419-0202	
連絡先	(電話)0545-71-3215 (FAX)0545-71-3244			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝統括センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	平成22年8月27日			
設置年月日	昭和41年7月1日			
敷地面積	3,093.62㎡			
建物 延床面積	1,199.92㎡ (1階)761.75㎡ (2階)438.17㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート造2階建			
主な設備	多目的トイレ、ギャラリー(ホール)、太陽光発電(8kw)、エレベーター			
駐車台数	40台	図書蔵書冊数	なし	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ124	デジタル防災無線 (MCA無線)	046	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	ホール	127人	Wi-Fi有り
		まちづくり室	20人	
		第3会議室	24人	
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	第1会議室	66人	Wi-Fi有り
		第2会議室	36人	
		和室	24人	20畳

●鷹岡地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	5.05km ² (推測値)
対象人口	12,145人
世帯数	5,508世帯
自治会数	12区
【地区の特色】	
鷹岡地区は、市の北西部に位置し、丘陵地が多い地区です。 県道414号富士富士宮線沿いを中心に商業・工業・農業のバランスが良く、住環境も良好です。 また、郷土愛の強い地区であることから、地元住民によるまちづくりセンターの利用は活発です。 「にぎわいあふれ、世代を超えて楽しく、安全に暮らせるまち鷹岡」を目指しています。	
【地区の歴史】	
鷹岡地区は、縄文・弥生時代の遺跡が発見されていることから、非常に古い歴史のある地区です。 明治時代に入り大宮街道が整備され、便利な立地を生かして早くから開け、この地区では初めて洋紙の製造が開始されるなど製紙工業が発展しました。 昭和8年には鷹岡町が誕生し、昭和41年の2市1町の合併により、富士市となりました。 その後、丘小学校設置に伴う厚原四地区の分離、天間小学校設置に伴う天間五地区の分離を経て、現在の区域となっています。	

●利用できる設備

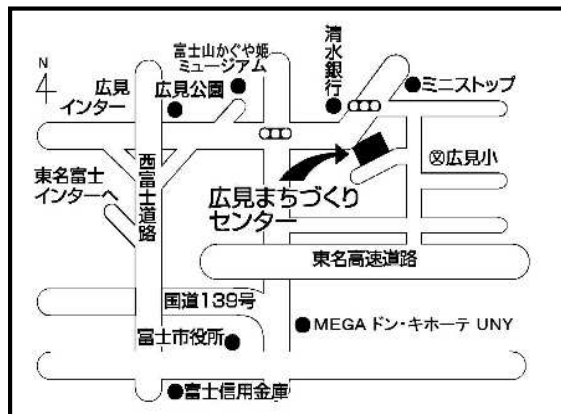
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、グランドピアノ、車いす、TV、プロジェクター、可動式スクリーン、CD付カセットデッキ、ワイヤレスアンプ
--

広見まちづくりセンター(指定管理者による管理・運営)



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

（令和5年4月1日現在）

所在地	石坂470番地の5	郵便番号	417-0862	
連絡先	（電話）0545-21-3444（FAX）0545-22-0096			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、事務員2人 夜間休日委託職員3人（シルバー人材センター）			
竣工年月日	平成5年3月25日（移転新築）			
設置年月日	昭和53年4月1日			
敷地面積	2,716.96㎡			
建物 延床面積	609.49㎡ （1階）315.38㎡（2階）294.11㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ			
駐車台数	37台	図書蔵書冊数	約800冊	
防災行政 無線番号（5W）	ふじ125	デジタル防災無線 （MCA無線）	047	
主な使用 区分 ※事務室、 図書コー ナー、ロ ビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1学習室	12人	
		和室	24人	24畳
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	第2学習室	20人	Wi-Fi有り
		第3学習室	20人	
		集会室	100人	Wi-Fi有り

●広見地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	2.28km ² (推測値)
対象人口	12,063人
世帯数	5,754世帯
自治会数	20町内会
【地区の特色】	
広見地区は、今泉地区の一部、大淵地区の一部及び新たに造成された住宅団地が一緒になったため、3つの地域の特性があり、なかなか融和できない時期がありましたが、地区ができて半世紀を超え、その特性も融和してきたように思われます。 また、この地区は、コミュニティ推進のモデル地区として、昭和55年に市内の各地区の組織とは異なった広見地区コミュニティ推進会を組織し、独自の地域活動を展開していたこともあり、地域としての住民活動に意欲的です。	
【地区の歴史】	
広見地区は、昭和37年から40年にかけて静岡県が造成した吉原住宅団地(現広見団地)を中心に、その周辺へ民間企業による宅地造成が盛んに行われました。 昭和46年4月、広見小学校の開校により、当時暫定的に吉原小学校区とされていた吉原住宅団地と、在来の今泉地区であった石坂町と源太坂、及び大淵地区であった三ツ倉南町、久保町、若松町等を広見小学校区として編成し、広見地区が誕生しました。	

●利用できる設備

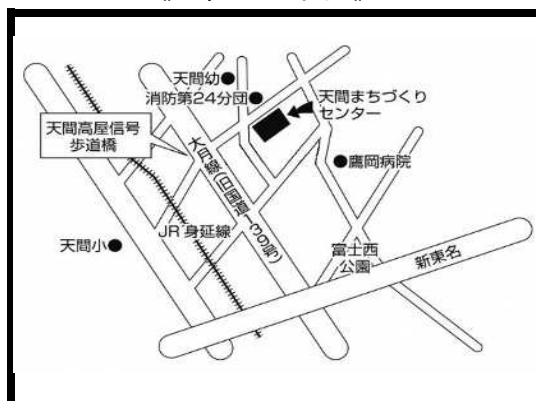
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、スクリーン、CD付カセットデッキ

天間まちづくりセンター



《案内图》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	天間1106番地の1	郵便番号	419-0205	
連絡先	(電話)0545-71-4007 (FAX)0545-71-4027			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、上席主事、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和59年3月10日、平成15年2月28日(増築) 令和7年2月28日(改修)			
設置年月日	昭和59年4月1日			
敷地面積	3,425.59㎡ (うち借地562.89㎡)			
建物 延床面積	464.79㎡ (別棟:多目的ホール) 266.51㎡ (1階)233.75㎡ (2階)231.04㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	45台	図書蔵書冊数	約500冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ126	デジタル防災無線 (MCA無線)	048	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	まちづくり室	15人	
		調理実習室	12人	調理台3台
	2階	大会議室	70人	Wi-Fi有り
		中会議室	28人	
		小会議室	20人	置き畳あり
	別棟	多目的ホール	120人	Wi-Fi有り

●天間地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	3.42km ² (推測値)
対象人口	6,320人
世帯数	2,989世帯
自治会数	5区、1町内会

【地区の特色】

天間地区は、市の中心部から北西に位置し、地形は南北に細長く、北に美しい富士山を仰ぎ、南西には潤井川が流れる富士宮市に隣接した地区であり、富士市の北西口の玄関となる地区です。

また、県道富士富士宮線(大月線)、県道鷹岡柚木線及び市道久沢天間線という大きな幹線道路が横断し、自動車の往来が盛んな地区です。南西エリアは化学、製紙工場が点在し、北東エリアは住居地域となっています。

【地区の歴史】

天間地区は、縄文時代の集落跡や遺構が発見され、昭和35年に初めて発掘調査が行われました。

センターの東側には、天間沢遺跡公園があります。

天満宮、日蓮宗福泉寺、手無観音のほか、10体の道祖神と8つの山神社がこの地区を見守ってくれています。

●利用できる設備

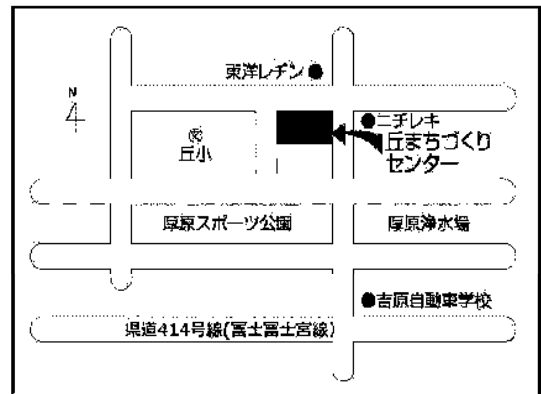
(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、キーボード、車いす、プロジェクター、CD付カセットデッキ、ポータブルアンプ

丘まちづくりセンター



《案内図》



●施設概要

(令和8年4月1日現在)

所在地	厚原2099番地の14	郵便番号	419-0201	
連絡先	(電話)0545-71-3961 (FAX)0545-72-3374			
開館時間	午前8時30分～午後9時30分			
休館日	第3日曜日、年末年始 国民の祝日に関する法律に規定する休日			
職員数	専任3人＝センター長、主査、事務補助員 夜間休日委託職員3人(シルバー人材センター)			
竣工年月日	昭和59年3月10日、平成15年3月14日(増築)			
設置年月日	昭和59年4月1日			
敷地面積	2,652.92㎡ (うち借地927.54㎡)			
建物 延床面積	914.75㎡ (1階)470.20㎡ (2階)444.55㎡			
建築構造	鉄筋コンクリート2階建			
主な設備	多目的トイレ、エレベーター			
駐車台数	45台	図書蔵書冊数	約1,500冊	
防災行政 無線番号(5W)	ふじ127	デジタル防災無線 (MCA無線)	049	
主な使用 区分 ※事務室、図 書コーナー、 ロビー、倉庫 等は除く	階層	室名	収容人数	備考
	1階	第1会議室	30人	
		第2会議室	14人	
		調理実習室	16人	調理台4台
	2階	多目的室	108人	Wi-Fi有り
		大会議室	45人	
		第3会議室	18人	Wi-Fi有り
		和室	18人	20畳

●丘地区の概要

(令和8年4月1日現在)

対象面積	3.94km ² (推測値)
対象人口	13,873人
世帯数	6,237世帯
自治会数	2区、9町内会
【地区の特色】	
元来の地区の住民は、鷹岡町厚原の一部、伝法地区の一部及び大淵地区の一部の住民であったことから、もともとは、3地域の特色がありました。 丘地区ができて既に50年が過ぎましたので、その特性も融和してきたように思われます。 しかしながら、丘地区ができた時の独立性は損なわれず、地域発展実現のための団結力は変わっていません。 また、“自琢の丘”という言葉を地域の愛称としており、自らを琢(みが)くことを目標に掲げています。	
【地区の歴史】	
丘地区は、昭和41年11月の2市1町の合併により新制「富士市」が誕生後、急速に住宅化が進んだため、昭和48年に開校した丘小学校の校区として、富士山の南側の丘陵地帯に旧鷹岡町厚原の一部、伝法、大淵地区の一部をもって組織されました。	

●利用できる設備

(令和8年4月1日現在)

AED(自動除細動器)、モバイルルーター、放送設備一式、調理器具一式、アップライトピアノ、車いす、プロジェクター、スクリーン、CD付カセットデッキ